

講義コード	11C0110401	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	小野寺 哲夫	開講期	第1期
科目名	心理学の世界A					小野寺 哲夫		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	心理学のスタンダードについて学ぶこと。心理学の概要を正しく理解し、心理学の魅力に気づくこと。さらに人間の発達段階における特徴、心理学による人間理解の仕方や心理学的な〈ものの見方〉について理解すること。								
到達目標	心理学の基礎知識を身につけ、その知識を基に、人間の心理現象を正しく理解し、分析できること。また、将来の就職活動で役立つレベルの自己理解、および自己分析ができるようになること。心理学の知識を日常生活の中で活用できるようになること。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業で扱ったトピックについての復習として、授業で扱ったキーワードや理論等について、図書館やインターネット等で調べて、自己理解を確実にし、知識を定着させること。上記に示した授業外の学修は、60時間を目安に行うこと。								
授業計画	【第1回】 授業のオリエンテーション、心理学の概説・心理学の歴史 【第2回】 「知覚の心理学」 錯視の不思議ほか 【第3回】 「学習の心理学」 古典的条件づけ・オペラント条件づけほか 【第4回】 「記憶の心理学①」 短期記憶と長期記憶ほか 【第5回】 「記憶の心理学②」 忘却理論と目撃証言研究ほか 【第6回】 「動機づけの心理学」 内発的動機づけ・達成動機づけほか 【第7回】 「発達の心理学」 愛着理論・エリクソンの発達段階ほか 【第8回】 「フロイトの精神分析学」 無意識の心理学ほか 【第9回】 「カウンセリング心理学」 ロジャーズの自己理論ほか 【第10回】 「臨床心理学①」 交流分析（エゴグラムほか）について 【第11回】 「臨床心理学②」 認知行動療法（CBT）について 【第12回】 「臨床心理学③」 森田療法・内観法 【第13回】 「臨床心理学④」 催眠・自律訓練法ほか 【第14回】 「家族の心理学」 ジェノグラムの作成ほか 【第15回】 「文化心理学」 プルデューのハビトゥス論ほか								
成績評価の方法	期末試験1回（60%）、中間レポート1回（20%）、授業への取り組み姿勢（20%）								
フィードバックの内容	授業内で行った心理アンケートの分析結果に関しては、4週間以内に講義内でフィードバックお知らせする。								
教科書	『心理学の世界 ver.1.0』 小野寺哲夫（心柱合同会社）2015								
指定図書	『アイゼンク教授の心理学ハンドブック』 マイケル W. アイゼンク（ナカニシヤ出版）2008、『ヒルガードの心理学』 スーザン・ノーレン・ホークセマ（金剛出版）2012								
参考書	『ザ・ソーシャル・アニマル—人と世界を読み解く社会心理学への招待』 エリオット アロンソン（サイエンス社）2014、『オプティミストはなぜ成功するか』 マーティン・セリグマン（バンローリング）2014、『影響力の武器 [第三版]：なぜ、人は動かされるのか』 ロバート・B・チャルディーニ（誠信書房）2014、『ファスト&スロー（上）あなたの意思はどのように決まるか?』 ダニエル・カーネマン（早川書房）2014、『ファスト&スロー（下）あなたの意思はどのように決まるか?』 ダニエル・カーネマン（早川書房）2014、『超一流になるのは才能か努力家?』 アンダース・エリクソン（文藝春秋）2016、『いやな気分よ、さようなら コンパクト版』 デビッド・D・バーンズ（星和書店）2013								
教員からのお知らせ	本講義中にどんどん書き込みながら使用していくテキストである『心理学の世界 ver.1.0』は、一般の書店では販売していません。テキストの入手方法については、第1回目の講義の際にお知らせします。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他	できる限り、毎回、何らかの心理テストを実施したいと考えております。 授業は毎回出席しましょう。授業中の私語には厳しく対処します。 講義時間中に、1～2回、アンケート調査に協力していただく場合があります。								